つなぐ、学ぶ、よりよい心臓リハビリテーションのために

多職種の連携により、
地域で支える
心臓リハビリテーションを
ともに考えましょう

第22回 京滋心臓リハビリテーション研究会

Kyoto Shiga Cardiac Rehabilitation Study Group

日時 2026年12月12日(土) 14時50分～17時20分

場所 京都府立医科大学 図書館講堂（現地のみ）

14:50 ～ 15:00 ｜ グラクソスミスクライン製品説明

＜開会の挨拶＞ 京滋心臓リハビリテーション研究会代表
京都府立医科大学循環器内科　白石 裕一 先生

第1部 急性期から生活期までのフェーズで考える心臓リハビリテーションの現状 15:00 ～ 16:10

【座長】 べっぷ内科クリニック 院長　別府 浩毅 先生
医仁会武田総合病院 理学療法士　今井 優 先生

【パネリスト】 立石医院　立石 健人 先生
滋賀医科大学循環器内科　高林 健介 先生
森下循環器内科　森下 瞬 先生
びわこリハビリテーション専門職大学 理学療法士　平岩 康之 先生
べっぷ内科クリニック 看護師　天花寺 祐紀 先生

1 急性期（大学・高度急性期）

早期離床プロトコル、進捗基準、退院・転院時の情報提供、病院の抱えている問題など（3施設大学病院から）

【演者】
1. 京都大学循環器内科　金田 和久 先生
2. 京都府立医科大学循環器内科
白石 裕一 先生
3. 滋賀医科大学リハビリテーション科
久野 智之 先生

2 回復期・外来（中核病院・クリニック）

運動処方・負荷設定（CPX非実施例含む）、外来移行率向上・患者教育の工夫、回復期の悩みなど

＜回復期側から＞
【演者】 1. 民医連中央病院 理学療法士
山下 真由子 先生

＜クリニック側から＞
【演者】
1. CCR林ハートクリニック 循環器内科　林 宏憲 先生
2. べっぷ内科クリニック 看護師　天花寺 祐紀 先生
3. 南草津ひだまりハートクリニック 理学療法士
渋川 武志 先生

3 維持期・保険外（自費・フィットネス等）

運動継続のための集団/個別プログラム、医療機関との連携

【演者】
1. 医仁会武田総合病院
理学療法士　今井 優 先生

4 生活期・介護保険（通所/訪問リハ等）

生活現場での運動指導・安全管理、医療側へのフィードバック

【演者】
1. 医療法人糖心会
べっぷ訪問看護リハビリステーション
田中 宇大 先生

第2部 全体ディスカッション 16:10 ～ 16:30

【座長】
山城総合病院 循環器内科　関 知嗣 先生
民医連中央病院 理学療法士　山下 真由子 先生

【パネリスト】
洛和会音羽病院 循環器内科　栗本 律子 先生
京都大学循環器内科　南野 恵里 先生
南草津ひだまりハートクリニック 理学療法士　渋川 武志 先生
医療法人糖心会 べっぷ訪問看護リハビリステーション　田中 宇大 先生

テーマ 「現場の進め方の疑問 & 連携の壁をどう乗り越えるか？」

- **運動負荷の悩みについて**
  - 「負荷を上げる／進捗させる時の“決め手”（バイタル、自覚症状等）は？」
  - 「CPXがない（または実施できない）場合の運動処方・進め方はどうしている？」
- **施設間連携の悩みについて**
  - 「前後のフェーズに「実はこういう情報（処方内容やADLなど）をもっと送ってほしい/知りたい」本音」
  - 「スムーズに移行できた成功事例（サマリーの工夫、連携ノート、ツール活用等）」

第3部 基調講演 16:30 ～ 17:00

【座長】 滋賀県立総合病院 循環器内科　灘浜 徹哉 先生
【講演】 国立循環器病研究センター 臨床心理士　庵地 雄太 先生

【演題名】
「患者さんは自分だけの心臓病のイメージを持っている!?
- 心臓リハビリの参加の予測する “illness perception” -」

第4部 京都と滋賀における心臓リハビリテーション連携の現状と今後のビジョンの説明 17:00 ～ 17:20

【座長】 京都医療センター 循環器内科　井口 守丈 先生
びわこリハビリテーション専門職大学 理学療法士　平岩 康之 先生

1 京都府の心臓リハビリテーション連携の現状
【演者】 洛和会音羽病院 循環器内科　栗本 律子 先生

2 滋賀県の心臓リハビリテーション連携の現状
【演者】 滋賀医科大学 循環器内科　高林 健介 先生

＜閉会の挨拶＞ あじろき会 宇治病院 循環器内科　細川 了平 先生

問い合わせ先 滋賀県立総合病院循環器内科　灘浜徹哉
t.nadahama.626@gmail.com　TEL 08047005379